

## ● ヤマグワの花の観察

小径沿いの斜面にクワの大木があります。  
養蚕が盛んだったころは、カイコの餌としてあちこちで栽培されていました。みなさんも桑畑が広がる景色を覚えていますよね。  
それが逃げ出したのでしょうか。今でもクワは人里でよく見られます。

このクワの大木は雄花序を多数つけています。  
周辺には花序をつけていない幼木も多数見られますね。

クワにはヤマグワとマグワの 2 種がありますが、どちらもクワ科の木本で養蚕に利用されていました。

この木はヤマグワの雄の木です。  
一般にヤマグワのほうがずっと多いようです。  
ヤマグワとマグワの特徴は一般に表のように言われていますが、判断が難しい個体が多いようです。また、品種改良されたこともあって、識別しにくいことが多いですね。



ヤマグワの大木(雄株)と雄花序

|      | 雄花序の長さ | 雌花の花柱の長さと形 |                                                                                      | 葉の先端   |
|------|--------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| ヤマグワ | 短い     | 長い<br>Y 字形 |  | 先端がとがる |
| マグワ  | 長い     | 短い<br>V 字形 |  | とがらない  |

少し離れたところで雌株も観察できました。今の時期、雌株であれば雌花の花柱で見分けるのがよいかもしれません。

ところで、ヤマグワはふつう雌雄異株といわれていますが、雌雄同株の個体もあるようです。  
興味のある方は次の記事をご覧ください。（飯島和子）

参考: 自然観察大学ブログ雄花と雌花とその間(2)ヤマグワとマグワ <https://sizenkan.exblog.jp/28578807/>